

介護・療養を支える 地域のネットワーク

◆地域包括支援センター

地域にあるさまざまな社会資源を活用し、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として設置しています。

社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師などが中心となって、高齢者のみなさんが、住み慣れた地域で、いつまでも健やかに生活していけるよう、介護や高齢者福祉の相談に対応しています。

成年後見制度、介護予防事業（教室や講演会等）、高齢者在宅福祉サービス（緊急通報システム等）、介護保険の申請手続き、介護相談等について相談できます。

地域には 16 か所あります。お住いの担当のセンターにご相談ください。吹田市ホームページに一覧を載せています。

<https://www.city.suita.osaka.jp/kenko/1018656/1018717/1022524/index.html>

◆すいた年輪サポートナビ

吹田市をサービス提供地域にしている介護サービス事業者を、地図や住所等の様々な条件から検索することができるシステムです。

吹田市ホームページから、いつでも、誰でも利用することができます。

<https://carepro-navi.jp/suita>

◆吹田市高齢者サポートダイヤル

高齢者やその家族からの介護・健康・医療等の相談に専門の相談員（ケアマネジャーや看護師）が応じます。

平日：午後 5 時 30 分～翌朝午前 9 時
土・日・祝日及び年末年始は 24 時間

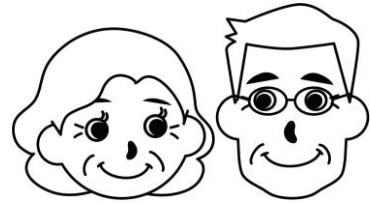
フリーダイヤル 0120-256594

にっこり ろうご の ぐらし

吹田市立図書館パスファインダー

「介護・療養」

を調べる方へ



作成：吹田市高齢福祉室
吹田市立健都ライブラリー
発行：吹田市立図書館

2023 年 3 月 第 3 版

図書館での医療情報サービスの利用にあたっては、次の点にご留意ください。

- 図書館で入手できる資料・情報の提供のみを行います。
- 特定の治療法や医療機関を勧めるものではありません。
- 病気や薬に関する知識・情報は日々更新されます。
図書館で提供できる情報がすべてではありません。
- 図書館司書は、医学の専門家ではないため、診断・治療の判断などはできません。
- 提供した資料・情報は、健康・医療についての知識を深める材料としてご活用ください。

吹田市立図書館ホームページアドレス

<https://www.lib.suita.osaka.jp/>



*このパスファインダーでは吹田市立図書館でご利用いただける資料・データベースを紹介しています。

人生の最終段階の暮らしや家族をサポートするサービスや制度を調べるために役立つ資料を紹介します。

図書館で調べる

* 高齢者の介護や社会福祉に関する本は、請求記号(背ラベル)が 36 で始まる「社会」の棚にあります。

「社会保障制度」・・・364

「高齢者の介護」・・・367

「社会福祉」・・・369

* 医療・看護などに関する本は請求記号(背ラベル)が 49 で始まる「医学」の棚にあります。

「ターミナルケア」・・・490

「在宅看護」・・・492

「終末医療」・・・498

図書館の検索用端末やホームページから、「介護」「終末医療」などのキーワードでもお探しいただけます。

◆介護をすることになったら

○『親の介護をはじめたらお金の話で泣き見てばかり』増補改訂版

鳥居 りんこ/著 (双葉社) 2022 年刊
実母の介護をすることになった著者の実体験をもとに、これだけは知っておいてほしいお金の話が満載。

○『親の介護 手続きと対処まるわかり Q&A』田中 克典/著 (玄光社) 2022 年刊
介護の基礎知識からお金や様々なサービスについて、最低限知っておきたい知識を Q&A 形式で掲載。

◆高齢者のひとり暮らし

○『ひとり老後楽生き事典』

辻川 覚志/著 (水曜社) 2022 年刊
元気な時により生活を充実させる方法から、一人での生活に不安を感じるようになってからの暮らし、最期への判断のしどころまで。

◆高齢期のケアを考える

アドバンス・ケア・プランニング

A C P (人生会議)とは

自らが希望する医療やケア、望んでいることを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することです。心身の状態に応じて、意思は変化することがあるため、何度でも繰り返し考え、話し合うことが重要です。

○『わたしたちの暮らしにある人生会議』

西 智弘/編著 (金芳堂) 2021 年刊
人生会議とはなにか、から始まって、人生会議に役立つツールやイベントも紹介。

○『ACP と切っても切れないお金の話』

福村 雄一/著 (日経 BP) 2022 年刊
ACP を実現するにあたって必要となるアドバンス・ライフ・プランニング(ALP)に重点を置いて書かれています。

○『このあとどうしちゃう』

ヨシタケ シンスケ/作 (プロンズ新社)
2016 年刊
死んだおじいちゃんの「このあとどうしちゃう」と書かれたノート。男の子も同じものを書こうとしたけれど……死んだらどうなる? どうしたい? でも生きている間にやりたいことがいっぱい。

◆身近なサービス・制度を調べる

○『あなたと家族が選べるやさしい介護と予防 吹田市版 令和 4 年度』

吹田市/監修 (ジャパンプリント)
2022 年刊

高齢者の生活を支える制度やサービス、身近な施設や相談窓口などを紹介。